

その他の取組み一覧

人材開発

内容	取組みの詳細
ライオン・キャリアビレッジ(LCV)	動画を中心としたe-ラーニングと職群別の教授陣によるケース講義・少人数討議に分かれており、社内や社外の知見を学ぶことができる、約600コンテンツを提供しています。加えて、個人のLCV利用実績に応じ、会社が自己啓発費用の一部を支援するSDF(セルフディベロップメントファンド)制度も提供しています。
キャリアデザイン・サポート	従業員一人ひとりが自身のキャリアを自らの意思と行動で創り上げていく「キャリア自律」を支援するために、「キャリアデザイン・サポート」を設置し、キャリアについての相談や社内外の情報提供、キャリアの設計や自己可能性の再発見を支援しています。年代別キャリアセミナーやキャリアテーマ別講演会を開催することで、一人ひとりに寄り添い、それぞれの強みや経験をキャリアに活かす意識を醸成する機会を作っています。
副業制度	副業申告制度により個々の従業員の社外での仕事を認めており、2020の制度開始以来、のべ300件が申告されています。社外での経験を積むことで、新たな自分を発見し、キャリアの幅を広げる選択肢を増やす機会を認めるとともに、副業で得る外部知見や人脈等を活用し、新たな価値創造にもつなげることを目指しています。

ワークライフエンリッチメント

内容	取組みの詳細
リフレッシュ休暇制度	満年齢50歳・40歳・30歳に到達した従業員が心身のリフレッシュを図り、新たな飛躍を期することを目的に暦日10日間の休暇と補助金を支給する、「リフレッシュ休暇」制度を設けています。人生の節目において、その先のキャリアパスやライフプランを考える機会として位置付けています。従業員は旅行や、新たな資格取得へのチャレンジに活用しています。
ボランティア特別休暇制度	会社が指定する活動への参加を支援する「ボランティア特別休暇制度(最大年5日)」と、社員が関心を持つ活動への参加を支援する「ボランティア一般休暇制度(積立休暇を利用)」を設けています。水害や地震等の自然災害が多い日本において、地域の復興活動に積極的に参加することで、地域社会の貢献とともに、参加者の社会貢献に対する意識の向上にもつなげることを目指しています。

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

内容	取組みの詳細
外国籍従業員の採用	2024年末時点、当社グループ連結での従業員に占める日本国籍従業員比率は45.8%であり、海外グループ会社では、各国・地域の従業員がアジアの生活者に寄り添い、より良い習慣づくりの提案など、活躍しています。 2024年末時点で、従業員数に占める外国籍従業員比率は1%、管理職比率は0.6%であり、2030年までに全従業員数に占める外国籍従業員比率と同等程度の管理職登用を目指しています。
中途採用者(キャリア入社者)の登用	現在展開している事業をさらに発展させるとともに新規事業を積極的に展開していくため、従来の当社にはない経験、スキル、専門知識を有する中途採用者(キャリア入社者)の採用および登用を推進しています。 2024年末時点で、当社における、従業員数に占める中途採用者比率は27.4%、管理職比率は12.5%であり、2030年に従業員数に占める中途採用者比率と同等程度の管理職登用を目指しています。
障がいのある方の採用・活躍推進	障がい者採用は通年で募集を行っており、障がいの特性に応じた就業配慮を実施するとともに、個々のスキルを活かして活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。 また、障がいを持ちながらも就労意欲がある方々が、その個性を活かし安定して働くことができる職場として、2016年4月に特例子会社「ライオンともに(株)」を設立しました。「ライオンともに(株)」は35名の障がいをもつ方々及び11名の指導員等(2024年末)からなり、本社オフィスの清掃や実験器具の洗浄、名刺・社員証の作成、文房具の再利用サービス等、幅広い業務を行っています。「安全第一」「心をこめて」「元気にあいさつ」「チームワークの発揮」の4つの約束のもと、障がいのある方々の雇用とその活躍を、今後も推進します。
多様な働き方 (配偶者転勤時サポート制度)	配偶者の転勤によるキャリア継続の不安軽減と、キャリア向上に前向きに取り組める環境整備のための制度で、キャリアプランやご家族の状況に合わせて「勤務地変更」「最大3年の帯同休職」「最大5年の帯同退職(再入社確約)」の3つから選択することができます。
キャリア・リターン制度 ジョブ・リターン制度	当社を一度離れた方も、様々なキャリア経験や人生経験、知識を活かして、再び当社で活躍することができる制度です。

従業員の健康増進

内容	取組みの詳細
健康診断	健康診断の項目は、法定を上回る項目内容で実施しています。また、全社で統一した判定基準をもち、事業所や健診機関が異なっても、同じ判定結果に基づいた事後措置を実施しています。要再検査や要精密検査となった対象者には、産業医や看護職が個別に指導し、受診勧奨の他、必要時、専門医への紹介受診に繋げています。 【特徴的な健康診断・歯科健診の内容】 ・ドック健診:40歳以上を対象、法定項目21項目+11項目 ＊40歳時は上記に加えB・C型肝炎、胃がんリスク検査を健診と同時に実施 ・婦人科検診:年齢別に検診項目を設定 ・前立腺がん(PSA)検診:50歳以上男性対象 ・歯科健診:全従業員が対象、歯科衛生士による保健指導を実施
保健指導 特定健康診査(特定健診)、 特定保健指導への対応	40歳以上の従業員に対し、定期健康診断と共にメタボリックシンドロームに着目した特定健診を行います。生活習慣病リスクが高いと診断された場合、リスクの度合いに応じて階層化し、健康保険組合と健康サポート室の専門スタッフが生活習慣を見直す保健指導を行います。中でも積極的支援が必要な場合は、健康保険組合と人材開発センターが勧奨を行い、社内専門スタッフに加え、外部業者とも協力して生活習慣の見直しを支援しています。
健康診断データ解析	部門横断プロジェクトを発足し、健康診断の結果やレセプトデータの分析情報を活用したデータドリブンな健康経営を促進しています。複数の専門部門が連携し、従業員の健康施策を充実するだけでなく、医療費の適正化に繋がる洞察を得ることを目指しています。
感染症対策	2020年よりインフルエンザワクチン接種の全額・会社費用負担を決定し、各事業所での予防接種を実施しております。2019年と比較し、2023年の接種率は30%から63%と大きく上昇し、インフルエンザ罹患による従業員数は196名から32名へ、休業日数は765.5日から137.5日へと大幅に減少しています。
健康ポイント付与 (健康行動の習慣化)	当社はコロナ禍での外出自粛により従業員肥満率が25%を超える健康課題を認識し、健康行動の習慣化に向け、2022年にGENKIナビに健康ポイント機能を追加しました。2023年には参加申込者が1,000名を超え、満足度は90%以上でした。2024年には健康ポイント獲得ミッションに社内コミュニケーションや禁煙を追加し、他者へのポイントプレゼント機能も導入しています。
環境づくり (健康行動の習慣化)	2023年4月に移転した蔵前本社には、各フロアに健康行動の習慣化に向けた環境づくりを行っています。 コップ不要の 歯みがき専用台 理想的な歩幅を ライオンちゃんの足跡で 活用動画も配信 ストレッチバー

内容	取組みの詳細
健康白書「GENKIレポート」発信 (ヘルスリテラシーの向上)	従業員の健康状態や予防・健康づくりへの取り組み状況等を経年的かつ全社平均との比較を見える化した健康白書「GENKIレポート」を2022年より毎年発行し、各事業所の健康管理責任者、産業保健推進者と共有しています。「GENKIレポート」はDX部門と連携し、事業所や組織毎にレーダーチャートを用い、ランクアップへの目安人数を記載するなど、自組織の健康状況を把握し、健康増進活動への活用を目指しています。 〇〇地区の健康状況（医科・歯科）の概要 【〇〇地区の健康状況】生活習慣病リスク保有率のスコア 健康状況（生活習慣） スコア：55 (50未満) 50 45 (40未満) 40 35 (30未満) 30 25 (20未満) 20 15 (10未満) 10 5 (0未満) 0 生活習慣：喫煙、飲酒、運動不足、睡眠不足、ストレス、食生活、歯の健康 健康状況（歯科疾患） スコア：55 (50未満) 50 45 (40未満) 40 35 (30未満) 30 25 (20未満) 20 15 (10未満) 10 5 (0未満) 0 歯科疾患：歯周病、虫歯、歯肉炎、歯槽膿漏、歯の健康 〇〇地区の生活習慣の概要 【〇〇地区の生活習慣】適正な生活習慣保有率のスコア 生活習慣：喫煙、飲酒、運動不足、睡眠不足、ストレス、食生活、歯の健康 スコア：55 (50未満) 50 45 (40未満) 40 35 (30未満) 30 25 (20未満) 20 15 (10未満) 10 5 (0未満) 0
50歳健康づくりセミナー	2013年から満50歳の従業員を対象に半日の健康セミナーを実施しており、2022年よりオンライン形式に変更した結果、参加率が上昇しました。参加者の約9割が全コンテンツを理解できたと回答し、具体的で分かりやすいという理由により、満足度は88.1%に達しています。 オンラインセミナー - 年代特有の健康課題 - 有事を支える保険制度 - キャリアプラン - マネーリテラシー 動画視聴 - がん予防 - 生活習慣病予防 - フレイル予防 - 年代特有の口腔健康課題 セミナーの概要
女性特有の健康課題への取り組み	2024年より外部相談窓口の開設、社内の新規事業との提携を通じ、月経や女性特有の身体の困りごとなどに対し匿名相談とセミナーを実施。延べ145名が参加し、満足度は93.2%でした。
男性特有の健康課題への取り組み	2023年に更年期や妊活、人には聞きづらい困りごとをテーマに、匿名で参加できるセミナー及び医師に相談できる機会を設けました。リアルタイムでは、延べ172名が参加しました。